

令和元年度 第4回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2019年7月19日（金）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時35分

○ 出席委員の氏名

教育長 嶋 公 治

委員（教育長職務代理者） 佐伯 和亜

委員 向井 美紀

委員 飯田 正巳

委員 成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局 教育次長 堂垣 真弓

教育総務課長 永井 義久

教育総務課参事（文化財室長） 橋本 明宏

こども教育課長 飯塚 智士

こども育成課長 木下 直樹

教育総務課課長補佐 木之瀬 晋弥

教育総務課教育総務係長 竹内 有子

事務局以外

生涯学習課長 大岸 和義

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

向井 美紀 委員

第2 前回の会議録の承認

令和元年6月26日（水）開催 第3回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

- (1) 第6回おんぷの祭典事業実施報告について
- (2) 夏休みラジオ体操顔見知り運動について

第5 議事

- 議案第12号 豊岡市文化財審議委員の選任について
- 議案第13号 豊岡市指定文化財の指定について
- 報告第8号 豊岡市社会教育委員の委嘱について
- 報告第9号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 教育懇談会について

2 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 学校閉庁日の実施について
- (3) 豊岡市中学校生徒会リーダー研修会について
- (4) 夏季休業中の研修について
- (5) 豊岡市こども支援センター6月の活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 2019年度夏季の幼児教育・保育研修会の開催について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時30分

(教育長)

ただ今から、令和元年度第4回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、向井委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。令和元年6月26日に開催しました第3回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回6月26日の定例教育委員会会議から本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告します。

《教育長の報告概要》

7月1日の地区教育長会議の内容を報告する。この会議は、但馬地区の教育長と県教育委員会の幹部職員が集まり、テーマを決め、協議をし、情報交換を行うというものである。今回の地区教育長会議のテーマは2つあった。

1つ目は、学校における働き方改革である。どの市町もこれまでと特に変わった取組みはなかった。県教育委員会から、姫路でスクールロイヤーを1回ごと定額の形態で弁護士を雇用しているという報告があった。学校の中で起こる告訴などの事案や複雑な問題については、すべてスクールロイヤーにお願いしているので、精神的な負担は軽くなっているという報告があった。それから、県立高校の27.5%で留守番電話を導入しているとの報告があった。まだ、そのことによる効果は出てきていないようである。

2つ目は、小学校における英語教育についてである。現在、担任が英語の授業を行っているというのが75%、専科教員が行っているというのが15%と報告があった。今後も小学校英語にかかる専科教員の推進を新学習システムのメニューに追加し、これを広げていきたいという意向である。そのことにより、外国語活動や英語を単独で行うことができるシステムを充実させていきたいということである。それから、ALTの活動についての財政措置について、特に強くお願いをしたが、引き続き、国へ要求していきたいとのことであった。

次に、全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されるが、学校別・地区別の結果の公表は行わないということである。

それから、不審者情報がたくさん出ているが、不審者情報を学校に流した時に、学校がどのように対応するかというマニュアルがない。台風や地震時などの対応マニュアルはあるが、不審者情報が届いた場合、この段階であれば子どもを帰宅させるとか、あるいは、学校に待機させるとか、そのような対応マニュアルがないので、マニュアル作成を県教育委員会で進めていきたいと

いうことである。

それから、不登校の問題については、学校に行かせることだけが教育ではないという考えのもと、フリースクールをもっと活用してほしいと。フリースクールに行ったときに出席扱いにするかどうかは校長の判断だが、判断がバラバラになってはいけないので、ガイドラインを作成して基準を設けていきたいという話があった。地区教育長会議については以上である。

それから、この夏に行う小学校1年生を対象とした「英語遊びサマースクール」は、今年度156名の希望があり、昨年度が206名、一昨年のスタートの年が210名であったので、その時から比べると50名ほど減っている。いろいろな理由があると思うが、小学校1、2年生に英語遊びが導入され、それが定着してきているので、ここまでのニーズは考えていないということなのかもしれない。分析をして、今後どうするかを考えていきたいと思う。一方で、中学校3年生を対象とした「イングリッシュ・サマーキャンプ」は、今年度45名の希望があり、昨年度が28名で、ほぼ倍増である。地域差なく、すべての学校から希望が上がってきている。希望者が倍増したということは、昨年度の活動を見聞きして、いい評価が出たのではないかと思う。これも分析をして、今後、どのような展開にするかを考えていきたいと思う。

(向井委員)

中学生の「イングリッシュ・サマーキャンプ」は、地域差なく、すべての学校から参加希望があったとおっしゃいましたが、小学校に関して、地域差はどうでしょうか。

(教育長)

1年生が少なく希望者0名というところではありますが、五荘小、豊岡小、八条小、日高小など大きな規模の小学校では参加希望はあります。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。生涯学習課から(1)第6回おんぷの祭典事業実施報告について、生涯学習課長の説明をお願いします。

1 生涯学習課

(1) 第6回おんぷの祭典事業実施報告について

《生涯学習課長の説明概要》

第6回おんぷの祭典の事業実施報告について、生涯学習課長が資料に基づき説明する。

6月4日から9日まで6日間開催した。今年は、27の企画で合計3,957人、ほぼ前年と同様の参加があった。そのうち、高校生以下が1,921人で、多くの子どもたちに音楽を届けることができた。

今年初めて5日間通しのイブニングコンサートを稽古堂で行った。最終日にはグランドフェスティバルと称し、キッズコンサートに始まりファイナルコンサートまで、1日音楽に触れる機会を設けた。

来年は6月2日から6日間の予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

最終日のコンサートは、去年に比べ、参加者がすごく多かったように思いました。キッズコンサートもすごくよくて、オーケストラをバックに小学生以下の小さな男の子と女の子が指揮をして、その指揮で動く、本当に贅沢な企画だと思いました。

(教育長)

引き続き、生涯学習課から (2) 夏休みラジオ体操顔見知り運動について、生涯学習課長の説明をお願いします。

(2) 夏休みラジオ体操顔見知り運動について

《生涯学習課長の説明概要》

夏休みラジオ体操顔見知り運動について、生涯学習課長が資料に基づき説明する。

各小学校で計画されている一斉ラジオ体操に中高生の参加を促し、地域での顔見知り、顔つなごうりの機会にしていく事業であり、今年も多く各地区で予定されている。例年、各地区、自治会が実施するラジオ体操に何度も参加する中学生もあり、引き続き、中学生の参加を期待している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

ラジオ体操は参加するだけですか。それとも、中学生が前に出て指導するというようなことはあるのですか。

(生涯学習課長)

各会場によって違いますが、そういう地区もあります。

(飯田委員)

私が住んでいる自治会では、子ども会育成会が中心になって企画し、前で高学年が指導するというかたちでやっています。前に出ている中学生は元気がないように感じます。そのことによって、場の雰囲気はずいぶん変わるので、学校でも機会があれば指導してもらいたいと思います。

(生涯学習課長)

青少年健全育成会議等を通じて、お願いをしていきたいと思います。

(佐伯委員)

夏休みラジオ体操顔見知り運動は、小学生は日々のラジオ体操として参加していますが、中学生は地区によっては参加者が少ないと思います。この活動はいい活動ですので、学校側から生徒が参加しなければと思うような持っていき方をさせていただきたいと思います。学校によっては自由参加とか、このチラシを配布しただけというところもあります。もう少し地区の方たちと顔見

知りになるためにも参加してほしいので、来年からは学校からの働きかけをお願いしたいと思います。

(生涯学習課長)

参考にさせていただきます。

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。議案第12号 豊岡市文化財審議委員の選任については、豊岡市教育委員会会議規則第17条により非公開としたいと考えますがいかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

承認を得ましたので、議案第12号については非公開とします。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

○ 議案第12号 豊岡市文化財審議委員の選任について

【非公開会議】

《 豊岡市文化財保護に関する条例第16条の規定に基づき、別紙のとおり豊岡市文化財審議委員を選任することについて、教育総務課参事（文化財室長）が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。続きまして、議案第13号 豊岡市指定文化財の指定についてです。教育総務課参事文化財室長の説明をお願いします。

○ 議案第13号 豊岡市指定文化財の指定について

《教育総務課参事（文化財室長）の説明概要》

豊岡市指定文化財の指定について、資料に基づき説明する。

三野神社大般若経を市の指定文化財に指定することについて、第3回教育委員会会議で文化財審議委員会へ諮問することを決定し、その後、文化財審議委員会から、指定するよう答申を受けた。そのため、豊岡市文化財保護に関する条例の規定に基づき指定をすることの提案である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

指定したあとの管理等の指導はしていただけるのでしょうか。

(教育総務課参事(文化財室長))

所有者である日高町野々庄区は、すぐに市に渡したいという意向を持っておられますので、歴史博物館で保管する予定です。

(教育長)

その他ありませんでしょうか。

では、議案第13号 豊岡市指定文化財の指定については、原案のとおり可決します。

(教育長)

続きまして、議事報告に移ります。報告第8号 豊岡市社会教育委員の委嘱について、生涯学習課長の報告をお願いします。

○ 報告第8号 豊岡市社会教育委員の委嘱について

《生涯学習課長の説明概要》

豊岡市社会教育委員の委嘱について、資料に基づき説明する。

5月の教育委員会会議にて承認いただいたが、団体推薦の委員が一部決定していなかった。この度、豊岡市体育協会から1名、豊岡市PTA連合会から2名、社会教育活動実践者から1名の推薦があり、5名の方を委嘱した。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市社会教育委員を委嘱することをご承知おきください。

続きまして、報告第9号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第9号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体4件、個人2件、合計6件、247万1千円の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

八代小学校のエアコンは、普通教室以外の学習室に設置するエアコンの寄附があった。また、歴史博物館に寄附があった、田尻早苗家文書につきましては、鑑定をしていないので、金額は空欄となっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告です。はじめに、教育総務課 (1) 教育懇談会について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 教育懇談会の開催について

《教育総務課長の説明概要》

教育懇談会について、当日配付資料に基づき説明する。

昨日、日高地区コミュニティセンターで日高地区を対象とした教育懇談会を開催した。出席者は約70名であった。

当日の質疑応答では、親がふるさとを愛していないと子どももそう思わないのではないか、そういった教育が必要である。地域に子どもがいないので学校以外で遊べない、学校はどのような役割を担っているか。複式学級を阻止することはできないか。保護者間で統廃合の話が出るが、どのタイミングで、どの程度の規模になったら進められるのか。発達障害・自閉症の子どもの教育について、1人の先生では見きれていないのではないか。豊岡市は子育ての助成制度が悪いのではないか、などの意見や質問があった。

参加者に記入いただいたアンケートには、部活動が成り立たない、統合については学校だけでなく地域で答えを出す必要がある、学校区を越えた学校選びというものも今後必要になってくる、小規模校を維持するため子育て支援や企業誘致、小小連携をさらに充実させる、もっと豊岡・地域をアピールする必要があるのではないか、コミュニケーションや英語教育・ふるさと教育は素晴らしい取り組みであるという意見もあった。

(教育長)

教育懇談会については、このあと、日程第7 委員活動報告で感想を聞かせていただきますので、質問がありましたらお受けしたいと思います。

(教育長)

それでは、続きまして、こども教育課 (1) 問題行動等の状況について、(2) 学校閉庁日の実施について、(3) 豊岡市中学校生徒会リーダー研修会について、(4) 夏季休業中の研修について こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、こども教育課長が報告する。

(2) 学校閉庁日の実施について

《こども教育課長の説明概要》

学校閉庁日の実施について、資料に基づき説明する。

3年目になるが、今年度も学校閉庁日を8月13日から15日の期間で実施する。学校職員の勤務は、年休、特別休暇とする。今年度はALT2名が学校閉庁日に勤務を希望しており、教育委員会で勤務してもらうことになる。

これまで、学校閉庁日は併設幼稚園のみを対象としていたが、今年度からは全ての幼稚園で閉庁日として取り組む。

(3) 豊岡市中学校生徒会リーダー研修会について

《こども教育課長の説明概要》

豊岡市中学校生徒会リーダー研修会について、こども教育課長が資料に基づき説明する。

例年開催しているが、今年度は8月21日（水）の午前に豊岡地区コミュニティセンターで開催する。今年のテーマは「安心してSNSを使うために、みんなに伝える取組を考えよう！」である。各中学校のリーダーが活動報告を持ち寄り、全ての市内の中学生が安心してSNSを使えるように、どんな発信をしていけるか、どのように発信するかを協議の中で決めていく予定である。

(4) 夏季休業中の研修について

《こども教育課長の説明概要》

夏季休業中の研修について、こども教育課長が資料に基づき説明する。

7月19日から特別支援教育コーディネーター・特別支援教育支援員研修会、26日に選択制研修講座（情報教育）として来年から始まるプログラミング教育の研修会、29日に初任者研修会・管外転入研修会、8月1日に特別支援学級担任・通級担当者研修会、7日に市内の教員3名による教育実践の発表を行う豊岡市教育フォーラムを開催、19日に市内小学校教職員と中学校初任者を対象とした授業づくり学級づくり研修会、23日にコミュニティ・スクールについて、伊丹市教育委員会の林田指導主事にお話いただく管理職研修会を開催、26日に特別支援教育について、関西国際大学の百瀬教授にお話いただく選択制研修講座を開催、27日に非認知能力について、青山学院大学の荻宿教授にお話しいただく管理職等研修会を開催する。

教育委員の皆さまもご参加いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(成田委員)

初任者研修会と管外転入研修会は、どのようなものでしょうか。

(こども教育課長)

午前は豊岡の教育やサービスについての研修、午後は市内の各地域を知ってもらう内容になります。

(教育長)

中学校生徒会リーダー研修会のテーマ「安心してSNSを使うために、みんなに伝える取組を考えよう！」というのは、みんながSNSを使っているという前提のようですが、生徒会でもSNSをしていない子どももいるかもしれない。やり方を間違えれば、SNSをやった当たり前のような雰囲気になると思いますが、いかがでしょうか。

(佐伯委員)

どちらかというと、SNSをやらない方向で進めてほしいですね。

(教育長)

もう少し中学生みんなが関係しているような内容を持っていくなど、少し検討してください。他に質問はありませんか。

続いて、(5) 豊岡市こども支援センター6月の活動状況報告について、こども教育課長の説明をお願いします。

(5) 豊岡市こども支援センター6月の活動状況報告について

《こども教育課長の説明概要》

まず、訂正をお願いします。資料 31 ページ「3. 家庭児童相談の取組み状況」の「児童虐待通告」が6月5件、4月～計8件となっているが、6月4件、4月～計7件に訂正をお願いしたい。

不登校の取組み状況は、通級指導生徒数が実数で7名、毎日来ている生徒は2名である。新規相談に保護者と見学に来られたケースが2名あったが、現在通級には至っていない。

特別支援の取組み状況は、昨年と比べて、7件増の132件、検査は昨年と比べて、2件増の8件実施している。4、5月と同じく、小学生の電話や来所相談が増えている。

家庭児童相談の取組み状況は、児童虐待の実件数は59名で、うち、通告があったのは2世帯4名である。いずれも学校からの通告で、父親や母親からの身体的虐待と、それを面前で見ていたことでの心理的虐待で受付を行い、こども家庭センターに通告し対応にあたっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

続いて、こども育成課 (1) 2019年度夏季の幼児教育・保育研修会の開催について、こども育成課長の説明をお願いします。

3 こども育成課

(1) 2019年度夏季の幼児教育・保育研修会の開催について

《こども育成課長の説明概要》

2019年度夏季の幼児教育・保育研修会の開催について、資料に基づき説明する。

幼児教育保育実践研修を3講座、特別支援教育研修と幼児教育保育のほのぼの研修を各1講座予定している。特別支援教育研修は、こども教育課の選択制研修講座と兼ねており、関西国際大

学の百瀬教授に特別支援教育の視点を取り入れた保育・教育についてお話をいただく。教育委員の皆さまもご参加いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(成田委員)

特別支援教育研修は、午前、午後、どちらの参加でもいいですか。どちらも同じ内容ですか。

(こども育成課長)

どちらでも結構ですが、午前は小中学校、午後は各園を対象としており、対象者が異なりますので、多少内容が変わるかもしれません。

(教育長)

その他ありますでしょうか。

それでは、各課報告は終了します。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続いて、日程第7 委員活動報告に移ります。短時間で結構ですので、昨日の教育懇談会の感想をお願いします。

(成田委員)

進め方がスムーズでよかったという印象を持ちました。問題がよく整理されていて、参加者も考えやすかったと思います。以前は、学校というのは、いくら小規模でも村の文化の中心みたいな考え方があり、学校がなくなると村がなくなってしまうというような感覚で意見を述べる方が多かったですが、昨日の雰囲気は、子どもを中心に考えなければならないというような方向に流れていったように思います。子どもにとって今の状況がいいのかどうかということが、来ていた方々の頭の中になんかインプットされていったのではないかと思います。今後、いろいろな地区の会議に参加させていただきますが、そういう流れができてきたのではないかという印象を持ちました。

(佐伯委員)

流れがよくわかりました。思ったこととして、1つは、複式学級での授業の様子を写真で紹介されていて、とてもわかりやすかったです。その時、複式学級のメリット・デメリットを全部まとめて紹介されていましたが、複式学級での様子が写真でしかわからないので、複式学級をするにあたって、先生方の意見や複式学級で受けている子どもたちの意見が少し具体的に例として出てきていけば、もう少しわかりやすいと思いました。デメリットのところ、「生活面でクラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい」というところがありました。これは文字を見たらそうかなと思いますが、もう少し具体的にどういうデメリットなのか

というのが、配布された資料の次ページに、「保護者から人間関係を心配する声もある」と意見が出ているのですが、ここをもう少し「人間関係や相互の評価等が固定化しやすい」というところに付け足したほうがわかりやすいと思いました。

いちばん思ったのが、統廃合についての質問があったときに、小規模校の保護者の方が、実際、統廃合はどのようなタイミングで行われるのか、保護者で気にされている方が多い。どこに意見や質問をしたらいいのかわからないという意見がありました。それに対して事務局が、地域で議論していただくきっかけになればというように案内されましたが、おそらく保護者の方はどうしたらよいかかわからないと思います。まずはPTAや校長先生、学校が話をして、こういう意見が出ていますと、それをまとめて教育委員会に提出してくださいというように、もう少し流れを具体的に説明しないと、何かご意見があれば教育委員会にいつでも直接言ってくださいと言われても、なかなか言う機会も勇気もないと思います。具体的に「こういうふうにされたらいかがでしょうか、そうすれば教育委員会にも話が伝わりやすくなります」という案内をしたほうが保護者の皆さんは動きやすいと思います。

(教育長)

今の件はいくつか併記して、例えば、西気地区の場合は、PTAが区長会にお願いをして区長会が動いたというスタイル、奈佐地区の場合は、区長会がこのままでは地区からどんどん転出していった大変な状況になるという危機感を持って、PTAも話し合いを進めていこうというスタイルもありました。こういうケースがありますよ、というように言ったほうがわかりやすいかもしれません。その地域でやりやすい方法を取ってもらう、そのような案内をお願いします。

(向井委員)

豊岡市が取り組んでいる教育をわかりやすくお話しいただいたので、子どもたちが多様性の中で育っていく必要性を理解していただけたと思います。統廃合を心配する保護者の意見に対して、事務局が受け身でアバウトな答えでしたので、参加しておられた方はどこにどう言っているのか道筋がわからないのではないかと思います。

それから、もっとたくさんの保護者に参加してもらって、生の声が聞きたいと思いました。

(教育長)

地域ごと、学校区ごとに何人参加したかわかりますか。

(教育総務課長)

アンケートに小学校区を記載する項目がありますので、わかります。

(教育長)

保護者がどれぐらい集まったかですが、八代や静修はたくさん来ていただきたかったですね。

(佐伯委員)

複式学級をやっている学校の保護者に来ていただくような誘い方をしてほしいです。現状を数字で見たいと思います。

(教育長)

八代小と静修小については、児童数の状況を見て、学校がこのあとどういう動きをするのか、確認しようと思います。そして、PTAの方に資料を渡してもよいので、学校に同じように説明するようにと指示しようと思っています。少なくともこの情報は皆のPTAに行くようにと 생각합니다。

(飯田委員)

説明がわかりやすく聞き取りやすかったと思います。参加者が少ないのではと心配していましたが、昨日の日高地区は、60 数名集まったのではと思います。学校・保育園・コミュニティの関係の方が多く、私たちが本当に声を聞きたい保護者の参加は少なかったのではないかと思います。案内のあり方は工夫が必要だったと思います。PTAを通じて各学校から4、5人ぐらい来ていただいていたなら、もっと生の声が聞けたのではないかなと思いました。日高地区の場合、通常の会議でしたら100人ぐらいは来られますので、参加者の数だけ見ると、教育環境に危機感を持っておられないのかと残念に思いました。今後、竹野地区や但東地区ではどのような声がかかるのかと、ある意味では楽しみにしています。

(教育長)

アンケートに感想として書かれていましたが、私自身の感想として、まだまだ他人事というか、教育委員会や行政はどうしてくれるのかという感じがすごくしました。学校がなくなったとして地域としてどうするのか、そういう責任を自分たちで負っていかなければならない。そういう意味で参加をしていかなければならないのに、非常に残念だと思いました。「行政が」と書かれている方もありましたが、そこから離れていかないと、この問題はすっきりと解決しないのではと思いました。統合したら、その後はどうしてくれるのかと、引きずってしまうのではないかと思います。もちろん区長さんもそうですし、学校と一緒にあって、話をしていかなければならないと思います。

【日程 8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。次回の教育委員会の会議予定や今後の活動につきまして、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第5回定例教育委員会会議は、8月22日(木)午前9時半から、本庁舎7階第3委員会室で開催する。

第6回定例教育委員会会議は、9月25日(水)午後2時から、市民会館4階講座室で開催する。

第7回定例教育委員会会議の日程は、10月下旬で調整する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の会議は8月22日(木)午前9時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催します。

これもちまして、第4回定例教育委員会会議を閉会いたします。

————— 閉会 午後2時35分 —————

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2019年7月19日

教育長

委員